

## 部門紹介

### 機能性 素材部門

鶏卵・野菜・緑茶・米・牛乳・乳酸菌など、私たちの身近な食品素材から生理活性物質を探索し、科学的考証に基づいた素材開発を行っています。

#### ファーマバイオミックス・葉酸たまご

ファーマバイオミックスは「葉酸たまご」の源です。飼料に添加して給餌することで、葉酸を通常卵の約3倍含有する機能性卵が産卵されます。葉酸たまごは、現在では殻付き卵（生たまご）、温泉たまごのほか、パン・菓子用途等として販売しております。

#### ボーンベップ

卵の中でヒナの骨が形成されることに着目し、骨の成長に関わる素材として開発しました。現在は、乳飲料、粉ミルク、サプリメント等に採用されております。

#### ランベップ

卵白タンパクを酵素分解することにより、血管拡張因子であるNO（一酸化窒素）を産生し、血管拡張、血流改善効果を有する機能性素材です。血流改善や運動疲労軽減に関わる製品に採用されています。

#### GABA（ギャバ）

動植物や微生物で生産される非タンパク系のアミノ酸の一つで、脳内で抑制系の神経伝達物質として働くといわれています。リラクゼーション効果、睡眠を促す効果が確認されています。

#### 鶏卵抗体（IgY）

鶏卵抗体技術はニワトリの卵から抗体を作る技術です。本抗体は鳥類固有の免疫システムを利用したバイオテクノロジーにより得られる素材であり、機能性食品や化粧品等のほか、医薬品・化粧品・診断薬等、様々な用途に可能性が期待できます。

#### iHA（アイハ）

卵黄から抽出した素材で、軟骨細胞の増殖効果、ヒアルロン酸の産生を促進する効果が確認されています。

### 機能性 製品部門

（通信販売事業、OEM事業等）

当社の機能性素材を使用した最終製品の販売を行っております。通信販売事業「タマゴ基地」では、膝関節用サプリメント「タマゴサミン」、卵殻膜由来の「珠肌石鹸」等を販売しております。またOEM事業として、製薬会社、健康食品会社及び通信販売会社用のサプリメントなどの企画・販売を行っております。

### バイオ メディカル 部門

創業事業として、ニワトリの免疫システムを活用したニワトリ抗体医薬創薬事業、鶏卵に含まれる成分から新薬を創出する骨形成ペプチド創薬事業を行っております。創業事業の他、国内外の大手製薬メーカーから医薬品開発・診断薬目的のための各種抗体の受託製薬を行っております。

### LSI部門

機能性素材全般に関わる研究開発から得られた技術等を基に、食品メーカー・化粧品メーカー等より各種素材・製品等に関する生理機能・効能・効果等の受託業務を実施しております。機能性に関するデータ取得やその分析、各種素材の成分分析、精製品の作成依頼等、健康食品や化粧品を中心とした各メーカーの研究開発に対するサポートを実施しております。

## 株式情報

### 株式情報（平成27年2月1日現在）

●発行可能株式総数	68,800,000株
●発行済株式の総数	28,955,000株
●株主数	12,621名
●大株主の状況	

株主名	持株数	持株比率
金武 祚	3,632,000株	12.54%
日本証券金融株式会社	1,276,800株	4.40%
株式会社SBI証券	1,224,200株	4.22%
江崎グリコ株式会社	732,000株	2.52%
金みれい	702,000株	2.42%
益田 和 二 行	700,000株	2.41%
金英 一	700,000株	2.41%
鈴木 千 尋	700,000株	2.41%
松井証券株式会社	576,800株	1.99%
オート製薬株式会社	400,000株	1.38%
三菱商事株式会社	400,000株	1.38%

（注）当社は平成27年2月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行ったことにより、発行可能株式総数が68,800,000株、発行済株式の総数が28,955,000株に増加しました。

## 株主メモ

事業年度	毎年8月1日から翌年7月31日まで
期末配当金受領株主 確定日	毎年7月31日
中間配当金受領株主 確定日	毎年1月31日
定時株主総会	毎年10月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により掲載いたします。

（ご注意）

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。

## 会社概要

### 会社概要

●社名	株式会社ファーマフーズ
●本社事務所	〒615-8245 京都市西京区御陵大原1番地49
●電話番号	075-394-8600
●設立	平成9年9月12日
●資本金	20億2,197万円（平成27年1月31日現在）
●従業員数	38名（平成27年1月31日現在）
●主要な事業内容	機能性食品素材の開発・販売、通販事業及び創薬事業

### 役員

（平成27年1月31日現在）

代表取締役社長	金武 祚
常務取締役	益田 和 二 行
常務取締役	堀江 典 子
取締役	丸 勇 史
取締役	新 谷 義 信
常勤監査役	伊 井 野 貴 史
監査役	津 田 盛 也
監査役	辻 本 真 也
監査役	八 田 信 男



本社社屋

## 株式会社ファーマフーズ

みんなにやさしいバイオの夢

## PFI Report

## 第18期 中間報告書

平成26年8月1日から平成27年1月31日まで



証券コード：2929

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第18期第2四半期（平成26年8月1日から平成27年1月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。



平成27年4月

代表取締役社長 **金武祚**

### ■事業の概況

当第2四半期累計期間における当社の主な活動としては、開発面において創薬事業に注力してきた結果、「関節リウマチプロジェクト」が経済産業省所管の大学発の技術シーズ活用プロジェクト「橋渡し研究事業」に、「悪性腫瘍プロジェクト」が、独立行政法人科学技術振興機構（JST）の「研究成果最適支援プログラム」に選定されるなど、創薬事業の研究開発が進展いたしました。両プロジェクトとも各大学医学部との共同研究を行っており、独自の開発技術の特許を製薬企業へライセンスアウトするビジネスを目指しております。

この他、天然由来の育毛活性成分の研究開発を進めており、新規育毛活性ペプチドの開発に成功しております。本ペプチド事業は食品分野のみならず、将来的には医薬品分野への展開を目指しております。

通信販売事業では、昨年9月に自社専属のコールセンターを新設し、お客様との関係性を強化してきた結果、顧客数が大きく伸びいたしました。定期顧客数は前期末（平成26年7月末）の約7,000件から、平成27年2月末時点で、16,000件を突破しております。

ラジオを中心とした効率の良い広告展開と自社コールセンター

の運営が奏功し、これらを軸に新規顧客の獲得へ向け積極的な先行投資を行ってまいりました。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高は822百万円（前年同四半期703百万円、前年同四半期比16.9%増）となり、売上総利益は507百万円（前年同四半期397百万円、前年同四半期比27.6%増）となりました。販売費及び一般管理費は通販事業での先行投資を行った結果、745百万円（前年同四半期413百万円、前年同四半期比80.2%増）となり、営業損失は238百万円（前年同四半期は営業損失16百万円）となりました。

費用は先行して発生しておりますが、将来を見据えた積極的な投資によるものであり、営業損益は期初予想の範囲内で進展しております。

経常損失は204百万円（前年同四半期は経常利益14百万円）、四半期純損失は265百万円（前年同四半期は四半期純利益12百万円）となりました。

通期の活動につきましては、① 機能性素材事業、② 通信販売事業、③ 創薬事業の三事業に引き続き注力してまいります。

通期の業績は売上高2,500百万円、営業利益200百万円、経常利益190百万円、当期純利益170百万円を見込んでおります。

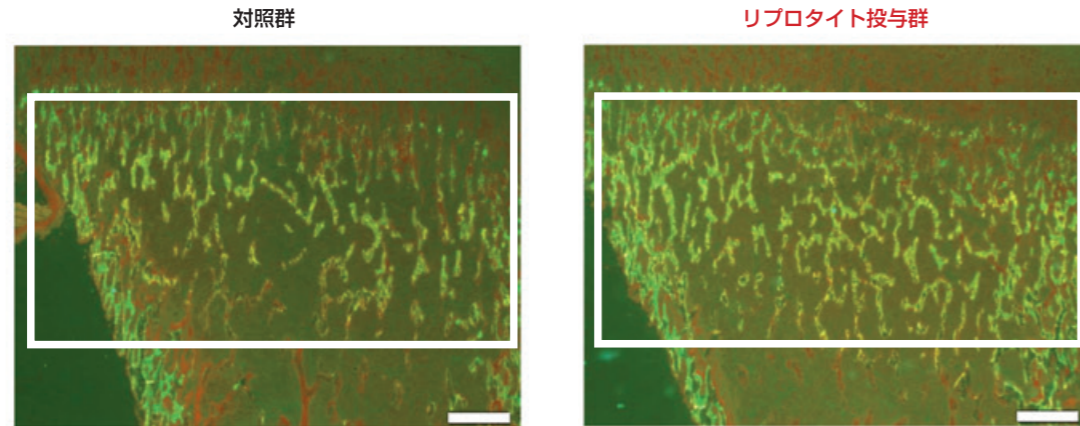


## ～創薬事業～ 「リプロタイト」の国際特許を出願

天然物由来の新規骨形成ペプチド創薬「リプロタイト (Reprotite)」の国際特許出願を本年2月に行いました。「リプロタイト」は、骨形成に関する生理活性物質の探索から開発した新規ペプチドで、動物試験において経口投与による骨成長促進作用が見出されております。

高齢化が進み、65歳以上が3千万人を超える中、骨の成長及び骨粗鬆症は社会的に大きな問題となっております。「リプロタイト」を骨折治療や骨粗鬆症を標的とした新薬候補物質へと育成してまいります。

### 【モデルマウスを用いた動物試験結果】



成長期のラットについて、下肢の脛骨における骨形成を観察しました。脛骨内部で新たに形成された海綿骨を黄緑色の蛍光色素で検出した結果、「リプロタイト」の経口投与によって海綿骨の新生が強く促進されることが見出されました(右図白枠内)。



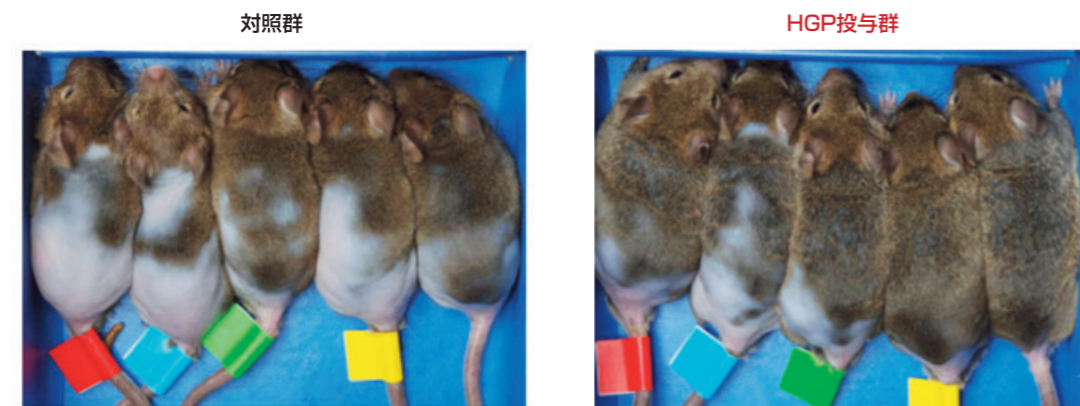
## ～研究開発～ 新規育毛活性ペプチド「HGP」を開発

卵黄タンパク由来の新規育毛成分「HGP(Hair Growth Peptide)」の開発に成功いたしました。「HGP」は、「ヒナは卵から羽毛をまもって誕生する」ということに着目し、鶏卵中に含まれる発毛を促す活性成分の探索研究により、開発した新規育毛素材です。

育毛モデル動物を用いた効能試験において、「HGP」の経口摂取による有意な発毛促進作用が確認されました。男性ホルモンによる毛成長遅滞の改善にも有効性が認められ、加齢による軟毛化や脱毛症のリスク低減に寄与する新規育毛活性剤として実用化を目指します。

本開発は平成26年11月に特許出願を行い、日本農芸化学会2015年度大会において研究成果を発表しております。

### 【モデルマウスを用いた動物試験結果】



育毛モデルマウスに「HGP」の混合食を与えることにより、右図のとおり極めて有意な育毛効果が確認されております。

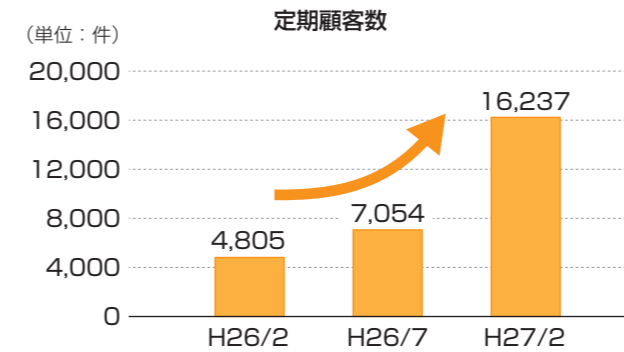


## ～通信販売事業～



### ●「タマゴ基地」の定期顧客数が大幅に増加！

積極的な広告展開を行ってきた結果、タマゴ基地の定期顧客数が大幅に増加し、16,000件を突破いたしました。(平成27年2月時点) 関節節用サプリメント『タマゴサミン』が好調であることに加え、アンチエイジングをコンセプトにした化粧品『sognando (ソニヤンド)』シリーズの石鹸、美肌クリーム等も順調に伸長しております。



ヒアルロン酸産生促進成分「iHA」配合  
【タマゴサミン】



LOX (活性酸素) 卵殻膜配合  
【珠肌のうみつ】



### ＝「機能性表示推進室」を新設＝

本年4月から施行されました新たな食品表示法に対応し、「機能性表示推進室」を新設いたしました。機能性に関する当社独自の強みを最大に活かし、機能性食品素材事業 (B to B) の一層の積極展開を行います。

#### ～ファーマフーズ VOICE ～

従来、食品についてその機能性 (効果、効能) を表示することは医薬品医療機器等法 (旧薬事法) に触れ、特定保健用食品など一部の特例を除いて不可とされてきました。

しかし、新たな機能性表示制度によって、確かな科学的根拠を示せば食品の機能性を表示することが可能になります。お店の健康食品コーナーで、機能性が表示された食品と何に効くのか分からない食品が並んでいれば、ほとんどの方は機能性が表示された食品を選ぶでしょう。

本制度は、健康食品をはじめとする食品全般の市場の様相を、がらりと変える可能性を秘めています。当社はこれまで科学的根拠に基づいた機能性食品素材の開発を強みとしてまいりました。当社の機能性素材の拡販に絶好の機会であり、積極的な事業展開に尽力してまいります。



機能性表示推進室 室長  
山津 敦史

## 財務諸表

### 》》 四半期貸借対照表

科目	(単位: 千円)	
	当第2四半期末 (平成27年1月31日現在)	前期末 (平成26年7月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	2,343,081	2,536,365
固定資産	1,476,623	1,397,930
有形固定資産	720,652	705,172
無形固定資産	5,244	4,873
投資その他の資産	750,727	687,884
資産合計	3,819,705	3,934,295
(負債の部)		
流動負債	272,895	208,974
固定負債	59,747	34,256
負債合計	332,642	243,230
(純資産の部)		
株主資本	3,306,297	3,568,135
資本金	2,021,972	2,020,327
資本剰余金	1,872,676	1,871,031
利益剰余金	△ 588,351	△ 323,223
評価・換算差額等	172,225	122,929
新株予約権	8,540	-
純資産合計	3,487,062	3,691,064
負債・純資産合計	3,819,705	3,934,295

### 》》 四半期損益計算書

科目	(単位: 千円)	
	当第2四半期 (平成26年9月1日から平成27年1月31日まで)	前第2四半期 (平成26年9月1日から平成26年1月31日まで)
売上高	822,242	703,231
売上原価	314,845	305,632
売上総利益	507,396	397,599
販売費及び一般管理費	745,869	413,800
営業損失(△)	△ 238,473	△ 16,200
営業外収益	61,395	31,657
営業外費用	27,689	1,235
経常利益又は経常損失(△)	△ 204,766	14,221
特別利益	134	-
特別損失	59,163	-
税引前四半期純利益又は純損失(△)	△ 263,795	14,221
法人税、住民税及び事業税	1,332	1,264
四半期純利益又は純損失(△)	△ 265,128	12,957